

岡崎市議会議長 様

支出番号

会派名 チャレンジ岡崎・無所属の会  
代表者名 杉山 智騎



下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

### 政務活動旅行報告書

令和元年 11 月 14 日提出

活動年月日	令和元年 11 月 12 日 (火)	
氏名	杉山 智騎	
用務先 及び 内 容	1 11月12日	用務先 東京都 千代田区 (国土交通省)
		内 容 総合雨水対策について
	2	用務先
		内 容
	3	用務先
		内 容
	4	用務先
		内 容
備 考		



# 令和元年度 行政視察報告書

令和元年11月14日(木)

チャレンジ岡崎・無所属の会 杉山 智騎

## 1. 視察日程

令和元年11月12日(火)

## 2. 視察内容

総合雨水対策について

## 3. 視察先及び面会者

国土交通省 水管理・国土保全局 治水課 課長補佐 大吉雄人氏

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 係長 長坂健氏

## 4. 視察内容

11月12日(火) 15:30～

岡崎市の総合雨水対策、河川改修の状況、ゲリラ豪雨時の岡崎市内の河川の危険水域状況などを説明し、担当課から現在の国の動向、これからの計画等の説明を受け、質疑応答などを行った。

### ・岡崎市への提言

近年、起きている大規模豪雨に対して、国としても計画を見直す必要があると認識していて、計画の見直しを検討している段階。復旧が大優先であることは言うまでもないが、同時に危険箇所のおぶり出し、国・県・市の連携が必要であると感じていた。しかし、河川は維持・管理に関しては国・県・市は同じ立場でそれぞれの管轄を責任もって対策を行う必要があるとのこと。もちろん、河川整備計画を見直すときは、国は県・市と連携をとって行うが、危険箇所のおぶり出しや、優先順位の検討などは、それぞれが考慮すべき。

このことを踏まえると、現在、岡崎市内にて危険な河川は管轄が県・市のものとなっており、県・市が主体的に検討しないといけない。つまり、県・市が主導しなければいけない。

我が会派は「総合雨水対策のさらなる推進」として

- ・岡崎市内を流れる河川の堤防の危険度調査の実施

- ・河川の樹木、草木の早急な伐採実施
- ・六名雨水ポンプ場への流入口の増設と流入方法の改善
- ・雨水被害の危険性が高い地区の避難経路が記されたハザードマップ作成を要望として提出している。

岡崎市としては新たに新設された「緊急自然災害防止対策事業費」をしっかりと利用し、上記項目を至急とりかかって、大雨に対しての不安を少しでも払拭できるよう対策をとることを熱望いたします。